

サンキューカードを使った周知啓発報告書

●サンキューカード 8万枚製作



おもて面

うら面

●サンキューカードを使った周知啓発

視覚障害者自らが視覚障害についての周知啓発を行うツールの作成と配布。サンキューカードとは視覚障害者が不特定の方に街でガイド等の支援を受けた際に渡すカードのこと。カードには感謝の言葉とともに、よりよくガイドするための方法を記載したHPへのリンクのQRコードと、周囲にもし視覚に障害をきたして就労就学に困っている方がいた場合、NEXT VISIONに連絡するように書かれている。このカードにより、視覚障害の当事者自らが、視覚障害により社会参加が滞っている方を探すための手助けをするという役割をもつことができる。そして、これに乗じてNEXT VISIONの広報にも繋がる。

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、下記団体を通じて8万枚を配布。

特定非営利活動法人タートル

社会福祉法人日本ライトハウス 情報文化センター

社会福祉法人日本ライトハウス リハビリテーションセンター

国立神戸視力障害センター

堺市健康福祉プラザ

兵庫県視覚障害者福祉協会

日本網膜色素変性症協会

日本盲人会連合

関西黄斑変性友の会

神戸市立盲学校

兵庫県立視覚特別支援学校

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

神戸市立点字図書館

非営利活動法人神戸アイライト協会

HOYAビジョンケアカンパニー
株式会社システムギアビジョン
株式会社尼崎眼鏡院
株式会社三城
三輪書店
公益社団法人NEXT VISION

支えられる側であった視覚障害者が、サンキューカードを配布することで視機能に不安や障害を持つ人を掘り起こし、情報を伝えるといった新たな役割を担うことになった。また、カードを配布された一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれた。

8万枚を配布できたのは支えられる側の視覚障害者が今度は支える側になれるという活躍の場を提供できたからであり、サンキューカードを配布する効果やその意義を理解してもらえたからだを考える。